

平成26年4月22日
米国ワシントンD.C.での発表リリース（英語版）の日本語版（補足付）
※公式リリースは英語版をご参照ください。

ICT 技術による健康増進と豊かな暮らしの実現を目指して 「パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス（PCHA）」が始動

コンティニュー・ヘルス・アライアンス、
モバイルヘルス・サミット、医療情報管理システム学会が協働し、
個人々による積極的な健康増進と豊かな暮らしの実現を支援

関心が高まりつつある ICT 技術を駆使した健康管理（コネクテッド・ヘルス）を推進する「パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス（PCHA）」が本日、公式に創設され活動を開始しました。この団体は、コンティニュー・ヘルス・アライアンス（Continua Health Alliance、以下コンティニュー）、モバイルヘルス・サミット（mHealth Summit、以下モバイルヘルス）、医療情報管理システム学会（HIMMS）により創設された国際的な非営利団体で、それぞれの団体が保有している国際的なメンバー企業のネットワーク、先進性、これまでの活動経験や情報資産を基に、スマートフォンやモバイルアプリ、センサー製品やヘルスケア機器などの製品技術の使い易さ、データ表示の方法、相互接続製、互換性、そしてデータの保全に関する安全性などを担保する活動を行います。インターネットによりますます繋がる環境が広がる中、本アライアンスは、いつでもどこでも個人が簡単に自身の健康データにアクセスすることができ、積極的な健康管理ができるよう、接続するだけで簡単に利用が可能な（プラグアンドプレイ）環境の推進とその必要性の啓蒙を行います。

PCHA の上級副社長ジェレミー・ボンフィニは以下のように述べています。「ヘルスケアの形が進化し、病院で提供されるだけでなく、仕事場や学び場、遊び場など、私たちの生活に近い場面で提供されるようになり、私たち自身が自らの健康に関してもっと積極的になってきています。そのような環境を受け私たちの団体（PCHA）では、より使い易いヘルスケア機器、モバイルアプリ、センサー製品、そしてそれらを繋ぐネットワーク技術の開発を促進し、認知度を高め、人々がより積極的に自らの健康管理に取り組むことが出来るように活動をしています。」

PCHA のミッションは、個人向けヘルスケア機器および関連システムの導入を促進すること、そしてそれを取り巻く社会的ネットワークやヘルスケアサービスのつながりを強化するために相互利用を促進する製品仕様や通信規格の標準化、各種規制への適正な対応を行うことです。それにより人々がより積極的に自らの健康管理にいつでもどこからでも取り組むことが出来る環境を推進します。また PCHA ではヘルスケアにおける「ビッグデータ」の効果的利用に必要な関連技術の開発促進にも取り組みます。さらに PCHA では、コンティニューが策定した設計ガイドラインや機器認証プログラムに基づき、ヘルスケア機器の相互接続性と互換性の向上に向けて業界標準の策定作業を引き続き推進します。

コンティニューのボードメンバーでありプレジデント兼会長であるクリント・マククリーランは以下のように述べています。「コンティニューの役員会は、今回の モバイルヘルス・サミット、医療情報管理システム学会との協働が、繋がるヘルスケア技術の進歩のために大きな力になると考えており大きな期待をしております。ICT 技術に関する国連の専門機関である国際電気

通信連合（ITU）は先頃、一連のコンティニュー標準を、より使い易く安全な個人向けヘルスケア機器および関連システムの開発において、プラグアンドプレイのように簡単に互換性を実現するための実質的な国際標準であると承認しました。そして私たちは今、デンマーク、アブダビ、シンガポール、英国を含む世界各国の政府とともに、コンティニューの開発指針をベースにした画期的な国家主導の繋がるヘルスケア・イニシアティブの導入プランを進めています。」

PCHA は、ヘルスケアのさまざまな場面で連続的に発生する「ケア」を、ICT 技術により一体化するためにグローバルな知見を集め、人々のライフスタイルにおけるヘルスケアのニーズに応えるソリューションへの投資を行います。コンティニュー、モバイルヘルス、医療情報管理システム学会といった参加団体は PCHA にユニークな観点を提供し、全体的な観点から利用者である個人に焦点を当てたヘルスケア技術の進歩に向けた提案を行います。

PCHA の副社長でありモバイルヘルスのディレクターであるリッチ・スカルフォは以下のように述べています。「PCHA は、モバイルヘルスとコンティニューの協力を受けることで、繋がるパーソナル・ヘルスケアの領域の知見を広げ業界全体を活気づけます。また団結することで各国の政策決定や規制の問題に対し大きな影響力を発揮します。そして教育活動や啓蒙活動を通じて繋がるパーソナル・ヘルスケア技術の導入を加速します。モバイル技術とパーソナル・ヘルスに焦点を当てた業界最大のイベントであるモバイルヘルス・サミットは、業界に対して引き続き重要なプラットフォームを提供し欧州、アジア、中近東地域へと活動範囲を広げます。」

PCHA に関する詳しい情報はこちらのサイトをご参照ください。

www.pchalliance.org

###

パーソナル・コネクテッド・ヘルス・アライアンス（PCHA）について

PCHA は、コンティニュー、モバイルヘルス、医療情報管理システム学会により創設された国際的な非営利団体で、相互接続性と互換性のある健康管理ソリューションの利用を促進することで、さまざまなライフスタイルに合わせた健康増進を推進します。また PCHA は医療情報管理システム学会の独立団体でもあり、学会がもつグローバル性とリーダーシップが、コンティニューが誇る幅広いメンバー企業とそれらの企業が持つ知見と、そしてモバイルヘルスのもつネットワークと世界各国で開催されるサミットとの相乗効果で、パーソナル・ヘルスケア技術の推進に注力できます。PCHA は、繋がるヘルスケアの利用者の声を受け、国内外のユニークな知見を組み合わせ、人々の一生におけるヘルスケアのニーズに応えるソリューションを提供します。詳しくはこちらのサイトをご覧ください。 www.PCHAlliance.org

コンティニュー・ヘルス・アライアンスについて

コンティニューは、繋がるパーソナル・ヘルスケアの実現に向けて、グローバルな業界標準技術をとりまとめる代表的な非営利団体で、プラグアンドプレイのように簡単な機器間接続をエンドツーエンドで目指しています。コンティニューは、個人が自らが「情報」による健康管理を可能にし、日々の生活の中で「健康」と「豊かさ」を享受できるよう、繋がるヘルスケア機器や関連システムの利用を促進する設計ガイドラインおよびテストツールの開発に取り組んでいます。コンティニューは、各種センサー製品、遠隔モニタリング機器、スマートフォン、タブレット、ゲートウェイ機器、さらにクラウド上のソリューションなど、ヘルスケア関連の技術における相互接続性に対する標準ガイドラインや安全性の確立を進めるパイオニアで、これまでに数多くのガイドラインを公開してきました。コンティニューの活動にはまた、認証およびブランドサポートプログラムの提供、医療技術や臨床技術の革新をサポートする各種イベントや協業の支援、そして雇用者や納税者、政府、ケアサービス提供者などとの交流サポートなども含まれます。コンティニューの役員会は、技術界、医療機器業界、ヘルスケア業界の先進的な企業やサービスプロバイダーなどにより構成されており、富士通、インテル、オラクル、オレンジ、Partners HealthCare Center for Connected Health、フィリップス、クアルコムライ

フ、ロッシュダイアグノスティックス、サムソンエレクトロニクス、シャープ、UnitedHealth Group など、200社を超えるメンバー企業が世界中に展開しています。詳しくはこちらのサイトをご覧ください。 www.continuaalliance.org

モバイルヘルス・サミットについて

モバイルヘルス業界の世界展開を促進する「モバイルヘルス・サミット2014」は、人々の健康増進をサポートするため、モバイル技術とワイアレス技術の統合がもたらす破壊、挑戦、そして機会創出を促します。今年で6回目の開催となる「mHealth Summit」は年末12月7日から11日までの日程で米国ワシントン DCにて開催されます。「テクノロジー」「ビジネス」「リサーチ」「ポリシー」の4つ基本プラットフォームに焦点を当てたモバイルヘルス・サミットは、アメリカ国立衛生研究所（NIH）、mHealth Alliance、Foundation for NIH（FNIH）とのパートナーシップのもと、医療情報管理システム学会（HIMMS）によって提供されます。詳しくはこちらのサイトをご覧ください。 www.mhealthsummit.org

医療情報管理システム学会（HIMMS）について

医療情報管理システム学会は、情報技術による健康増進に焦点を当てたグローバルな原因ベースの非営利団体です。医療情報管理システム学会は、健康増進の活動および情報技術を用いたケアの成果を最適化するリーダー的団体です。医療情報管理システム学会は、ヘルスケア IT のオピニオンリーダーシップ、教育、イベント、市場調査、メディアサービスなどを世界中で提供するグローバル企業体です。1961年に設立された医療情報管理システム学会は、5万2000人を超えるメンバーを抱え、その内約3分の2がヘルスケアプロバイダーや、政府あるいは国際的な非営利団体のメンバーで、さらに600社を超える企業と250の非営利団体パートナーで構成されています。シカゴに本社を置く医療情報管理システム学会は、米国、欧州、アジアの追加拠点を含め、グローバルにヘルスケア IT コミュニティーの活動に貢献しています。

##

【報道関係からのお問い合わせ先】

コンティニュー・ヘルス・アライアンス日本地域広報窓口

電子メール: japan_pr@continuaalliance.org